

新年のごあいさつ

平成30年も市民の皆さんにとって

実り多き1年になりますように

謹賀新年

HAPPY NEW YEAR! 2018 🐾

平戸市長 黒田成彦



「平戸市にありー」の気概のもと
活力あるふるさとづくりに取り組む

市

民の皆さま方におかれましては、ご家族お揃いで希望に満ちた輝かしい新年をお迎えになられましたことを心からお喜び申し上げます。また、常に市政執行に対し深いご理解と温かいご支援をお寄せいただきましたことに改めて厚くお礼を申し上げます。

昨年10月には合併後4年度の市長ならびに市議会議員選挙が施行され、私は市内各界各層の皆さま方のあつご支援をいただき三期末の当選を果たすことができました。ここに改めて有り難く感謝申し上げますとともに身の引き締まる思いであります。

私は、市長選挙前に「プレミアムな平戸へ進化を続けよう！」と呼びかけました。この意味するところは、決して現状に甘んじることなく、さらなる「次のステージ」に向かって努力を惜しまずチャンスをつかんでいくというスローガンです。

さらにこの「次のステージ」とは、これまでの8年間が市民の皆さまとの協働事業による「ホップ・ステップ」の段階だとすれば、三期末はいよいよこれらの実績に弾みをつけた「ジャンプ」として、平戸市の魅力や可能性を再評価し、私たちの取り組みに賛同してくださる市外の理解者または、協力者の皆さま方との連携を今後の課題解決に結びつけていくことを意味します。

楽しく住みやすくチャンスに恵まれた魅力ある地域にこそ人は集まります。すでにいくつかの事業者の皆さんからの打診があり、こうした意欲溢れる人たちの思いに対する受け皿づくりにご尽力くださる市民の皆さまとの連携をさらに強化してまいります。

合併して12年が過ぎ、人口減少や少子高齢化の流れを食い止めるのは簡単ではありませんが、徐々に平戸市の活力が数字に表れていきます。

例えば、平成22年度の農業販売額は約47億円から平成28年度には約58億円にまで伸び、水産業においても沿岸漁業では水揚げ金額が平成21年度には41億円まで落ち込みましたが、平成28年度には47億円にまで回復することができています。

もう一つの基幹産業である観光分野においても、平成18年の観光客数は約160万人でありましたが、平成27年には178万人、本年の予想では180万人を突破しそうな勢いです。こうした地元産業の活性化により、自主財源である市税収入も伸びを示しており、血気盛んな担い手が、あらゆる分野で活躍しておられる躍動感が伝わってきます。

いよいよ本年は「第二次平戸市総合計画」の初年度であり、また人口減少の抑制と産業振興のための「平戸市総合戦略」を実行する3年目の大切な中間年となります。

こうした計画を着実に推進しながら、一段と気を

引き締めて主役である市民の皆さま方と脇役である私も行政が一体となって「平戸市ここにありー」の気概のもとに、活力溢れるふるさとづくりに全力を傾注してまいります。

結びに、この一年が皆さまにとりまして、限りなくお幸せで明るく元氣な飛躍の年になりますことをお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。

川内峠から望む朝日



明

皆さまにおめでとうございます。平戸市議会を代表いたしました。謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

また、市民の皆さまには、日ごろから市議会に対し、温かいご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、市議会議員の改選の年であり、今回より議員定数を2人削減し、18人いたしました。定数を削減したことで、議案の審査や執行機関の監視、調査など議会機能の低下を招かないよう、議員一人一人の能力や資質の向上に努めてまいります。

昨年を振り返りますと、7月に発生した九州北部豪雨は、各地に多くの犠牲者や甚大な被害をもたらしました。観測史上1位となる豪雨であったとのことですが、近年は毎年のように観測史上初という異常気象が各地で起こっており

ます。

近年、大きな災害が起きていない本市においても、こうした異常気象による災害がいつ発生するか予断を許さないところであり、いつ災害が起きてでも大丈夫なように緊急時への対策を十分に行なっておく必要があると考えております。

一方市内に目を向けますと、昨年5月に開催された平戸城に1日城主として宿泊する「キャッスルステイ」のイベントに、国内外から7千件を超える応募があるなど、平戸市の観光の可能性を大いに感じることができました。

また、市議会におきましては、玄海原発再稼働に関し、実効性のある避難計画や方法が確立されなければ市民の安全は守ることができず、市民の皆さまの理解が得られないとして県内初となる「再稼働に反対する意見書」を決議し、国および九州電力に提出しました。玄海原発再稼働につきまして

は、これからも引き続き安全性の確保を注視していかねければならないと考えております。

さて、昨年末の12月議会では、平戸市の今後10年間の施策の指針となる平戸市総合計画基本構想が上程され、全会一致で可決されました。これまでの総合計画と異なり、形式にとらわれず、市民の皆さまと共有し、共に実践へつなげていこうとする内容となっております。

市議会といたしましても、この基本構想を議決したことにより責任を持ち、平戸市総合計画（平戸市未来創造羅針盤）が描く未来像である「夢あふれる未来のまち平戸」に向け、行政とともに取り組んでまいりたいと考えております。

そのためにも、二元代表制における議会の機能を最大限に発揮し、少子高齢化や人口減少に伴うさまざまな課題に対応しながら、子や孫の世代も夢を持ち、

チャレンジできる平戸市を創っていくために全力で取り組んでいく所存でありますので、これまで以上に市民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、この一年が皆さまにとりまして幸多からんことを祈念いたしまして、新年のあいさつといたします。

子や孫の世代も夢を持ち、
チャレンジできる平戸市を創る

平戸市議会議員 大久保 堅太



平戸市教育長 小川 茂敏

明

皆さまにおめでとうございます。今年3月には、中津良小

今年3月には、中津良小学校、堤小学校がそれぞれ106年、143年の歴史に幕を閉じます。新たな学校となる津吉小学校への就学のために最善を尽くすとともに、教育の面から地域の子育て環境をしっかりと整えてまいります。

この一年、市民皆さま方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

たいと存じます。

生涯学習におきましては、本市は平成19年に長崎県下で初の「生涯学習都市宣言」を行いました。あれから10年、記念すべき年を迎え新しい「平戸市生涯学習推進計画」を策定するとともに、来る2月18日に「生涯学習都市宣言10周年記念大会」を開催することになりました。人づくりを通してキラリと光るまちづくりを目指すのが本市の生涯学習です。多くの皆さまに賛同賜りたいと思

今年3月には、中津良小学校、堤小学校がそれぞれ106年、143年の歴史に幕を閉じます。新たな学校となる津吉小学校への就学のために最善を尽くすとともに、教育の面から地域の子育て環境をしっかりと整えてまいります。

明

皆さまにおかれましては、つつがなく輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

本年は、新しい年を新県庁舎で迎えることができました。これからもこの新しい庁舎に恥じないよう、県政発展のため頑張らねばと強く心に誓っております。

郷土の平戸市はもちろんのこと、長崎県全体の振興のため今以上に尽力していく所存でございます。これまで学んだことや、さまざまな経験を生かし、また、これからの活動を自分の糧にして、皆さまのご期待に沿えるよう取り組んで

まいります。市民の皆さまの要望につきましても、速やかに対応し、迅速に完了するよう県当局と意思疎通を図るよう活動していく所存です。

昨年の9月議会におきましては、トップバッターとして一般質問に立ち、平戸市や長崎県の発展を願うさまざまな質問をしました。今後とも市民の皆さまはもちろん、黒田市長や市議会の皆さんと連携を密にしなが

結びに、平戸市の更なる繁栄と、皆さまにとりまして今年が良い年になることをご祈念申し上げます。



長崎県議会議員 西川 克己